



G100W

ぐんま 100km ウォーク

2017.5.12 Fri

19:00-20:30

7th Gunma 100km Walk Eve

WELCOME PARTY

前夜祭でエネルギーを補充しよう！盛り上がろう！

この大会は、人と人とのふれあい、挑戦者とサポーターとの一体感を大切にしています。私たち実行委員含め運営スタッフは、参加される多くの方々と交流し親睦を図りたいと思っています。何より、挑戦者同士の交流を深めることを最大の目的として、ぐんま100kmウォークの常連さまから初参加の方まで、様々な情報交換が行われ、交流が深まる機会となることを切に願っております。この参加者交流ウェルカムパーティを通じてご縁が広がることはもちろん、大会当日はもっともっと想い出に残る大会になると信じています。

おいしい料理を食べながら、陽気にわいわいと楽しい前夜を過ごし、大会当日の英気を養いましょう。たくさんのご参加お待ちしております！



●ウェルカムパーティー詳細●

日 時 平成29年5月12日(金)

受付18:30-

開始19:00-20:30

場 所 G Face Cafe

群馬県前橋市大手町一丁目1-1

昭和庁舎1F Tel:027-243-1586

会 費 3,000円(当日現金払い)

ビュッフェスタイル 飲み放題(アルコールあり)



●参加申込方法●

対 象 挑戦者及びその家族

運営スタッフ関係者

後援・協賛企業

申 込

同封の出席ハガキ

メール申込

※出席の方のみご連絡ください。

期 限

平成29年4月7日(金)迄

主催:ぐんま100kmウォーク実行委員会 Tel:090-8943-7908

スペシャルゲスト



アンカンミンカン

ゲストウォーカー



たろ

司会進行



久林 純子

ゲスト紹介

スペシャルゲスト



アンカンミンカン

【プロフィール】

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。東京NSC12期生。群馬観光特使、みどり市観光大使、ぐんまの地酒大使、道の駅おおた観光PR大使、まちなかテレビ広報部長、など。

全国47都道府県に芸人を派遣して「笑い」で地域を盛り上げるあなたのまちに住みますプロジェクトの群馬県担当。

群馬テレビ「カラギリ」、FMぐんま「ビジネタ!」、FMぐんま「WAI WAI Groovin'」、FM桐生「まじうれ」、その他県内外のイベント・パーティーなどMCや賑やかしなど幅広く活動。

(左 川島大輔 群馬県出身 右 富所哲平 群馬県出身)

「あなたの街に“住みます”プロジェクト」とは、吉本興業が「地域密着型プロジェクト」として、2011年4月27日から開始したプロジェクト。吉本興業が、子会社・よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のタレントを「住みます芸人」と銘打ち、全国47都道府県に派遣している。各県に実際に移住させた上で、地域に密着した芸能活動を行わせ、地域に貢献しようという趣旨で行われている。

ゲストウォーカー



たろ

【プロフィール】

九州北部にある平尾台で、山や洞窟探検などのボランティアガイドを中心に、地元で開催される4000人規模の100キロウォークなどのイベントで歩く楽しさや遊び心をプロペラ帽子と共に発信している。

走りと歩きの共存できるロングトレイルの世界と出逢い、国内だけでなく、イタリアやハワイなど海外の山々も旅をした。新たなる発見や遊び心を求めて、まだまだ自分探しの旅はつづく。

【主な戦歴】

- ウォーキング大会
行橋～別府100キロウォーク 9回完歩
- 主な国内レース
ハセツネ 1回
信越五岳 3回
UTMF 2回
- 海外レース
Tor des Geants(トルデジアン330キロ):Italy
Truly Hawaii Trail Run:USA
〔サポートブランド〕ALTRA (Japan ambassador)



司会進行



久林 純子

【プロフィール】

群馬県立高崎女子高校、國學院大學文学部卒業、群馬県立女子大学大学院修了 文学修士。
ラジオパーソナリティー(ラジオ高崎)を経てフリー アナウンサーに。
司会やナレーションの他、読み聞かせや朗読にも力を入れ、子どもとその保護者世代に向けた文化的好奇心のタネまき事業として、「みっけ!のタネ企画」を起こし、朗読と演奏を組み合わせた「おはなし演奏会」を柱に体験事業なども企画。

NHK前橋・カルチャー朗読教室の講師。朗読CD『夢の世界・子どもの領分』『いま、山村暮鳥』発売。

高崎経済大学、新島学園短期大学非常勤講師。

『みっけ!のタネ』って!?
すぐでなくても良い、いつかこどもたちの心に好奇心や興味の芽が膨らむように感動のタネをまいていくたい。こどもたちのために、子育てをしている親世代のために、良質の体験を通して文化的好奇心のタネまき事業を行っていきたいという思いの元、教室やセミナーエベントを企画している。その企画内容は子供だけではなく大人にも喜ばれている。